

2023-2024

willdoor

一般社団法人ウィルドア 活動報告書

ANNUAL REPORT

一人ひとりが“自分”と“社会”と生きられる未来に向けて
一緒に歩んでくださるみなさまへ



『さくらの部屋のドアは、フツウの扉から 色んなワクワクを見つけにいく扉になったんだね』



学校で探究の一步目を踏み出したものの、思うように共感が得られず悩んでいた。

2022の夏、SNSに流れてきた willdoor FESに参加したのを1つのキッカケに世界は広がり、日常の見え方も変わっていった。

▶ 参加者の声：長崎県 の私立高校に通っていた さくらさん

「子どもたち一人ひとりが、自分の好きという想いや夢をあたり前のように語れたら良いのに」
そう願う一方で私自身は周りの声によって自分のスキや夢がかきけされそうな状況にいました。

そんなとき willdoorFESのキャッチコピー「さぁ、君色に未来を照らせ」がSNSに流れてきたんです。言葉に惹かれた一方で、参加するかの決断には時間がかかりました。だけど、あのちっちゃな勇気で、同世代の仲間と出会えて、そして失いかけていた“自分の想い”を取り戻すことができました。

それで悩みが消えたわけではなく、その後も大変なことはあったけれど、いつもあたたかく迎え入れてくれて、学校に居場所がなかったときは特に救われました。

世界を広げたいと思っても「地方だから無理だろうな」と諦めつつも、助けを求めている、どこかでもがいている高校生まで機会を届けてくれて本当にありがとうございました。

設立から今に至るまでの思い



9年前『もっと個々人の想いや状態に寄り添った機会や出会いを届けていきたい』
そんな思いで、ウィルドアを設立しました。

事業を通じて出会った若者たちは、当時思い描いた以上に色とりどりの思いと可能性を持っています。一人ひとりが“豊か”に生きていくためには与えられた環境やカリキュラムの中で学ぶだけでなく、**自らの意志で社会にある様々な学びの資源を、自ら選び、学び続ける力や姿勢が重要です。**

不確実性が高まり予測が難しい今こそ、一人ひとりの可能性を信じ、変わりたい気持ちの後押ししていく同志であり仲間になっていただければ嬉しいです。

▶ いただいた手紙

“学校”という世界しか知らなかった私が、新しい世界の扉を開く楽しさを実感できた一つにFESがあります。たくさん泣いた日も、落ちこんで部屋から出たくなくて家族に心配をかけた日もあったけれど、「さくらの部屋」のドアは、普通の扉から色んなワクワクを見つけていく扉になったんだね」と母から言われてすごく嬉しかったです。新しい自分と未来に出会う扉をウィルドアの皆エンバがつくってくれたことに感謝しています。人生の中の高校時代というページに、ウィルドアの皆さんと出会ったこと、お話できたことを刻めたこと、本当に宝物です。

部屋のだうは、普通の扉から色んなワワワを見つけたにいく扉にな。たんたんぬ」と母から言われてすぐ嬉しかったです。新しい自分と未来に出会う扉をウィルドアの皆さんでつくってくれたことに感謝しています。人生の中の高校時代というページに、ウィルドアの皆さんと出会えたこと、お話できたことを刻めたこと、本当に宝物です。

います。人生の中の高校時代というページに、
ウィルドアの督さんと出会えたこと、お話をできたことを
刻めたこと、本当に宝物です。



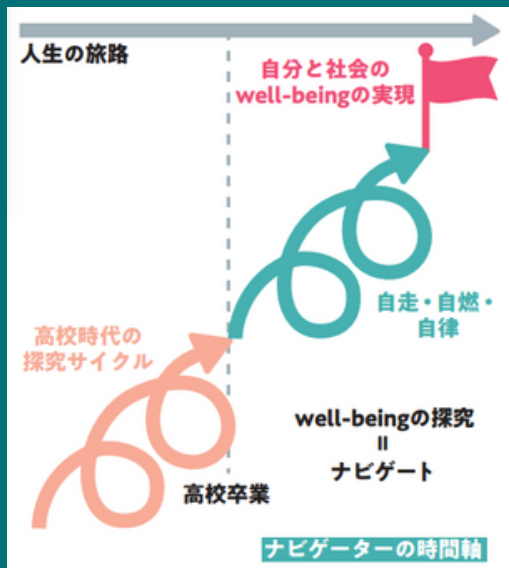
「私からはじまる学び」を体現した先輩が、
地域で・オンラインでまた後輩たちを導いて
いってくれる

生徒の学びとどのように向き合うのか、目的・マインド・スキルを共有することで、一体感をもって、生徒たちと伴走者が関わる事ができた。お互いの強いを活かし、弱みを補い合う関係性につながっていくことで、生徒たちの周りに大人たちの学びの土壌が醸成されていった感覚を得た。

生徒主語の学びのナビゲートを普及するためには、どこかで大人を変える必要があることが難しいところだと思います。現場の教員としても、指導主事という立場でも、同僚や保護者に対するアプローチに最も悩んでいました。何歳になっても人は変わることができると思って自分自身は変化し続けたいと思いました。

(教育委員会事務局 職員)

事業概要



単に探究やキャリア教育で成果を出すことなく個々人のキャリア発達に合わせて、学習者が**人生を通じて「自分と社会のwell-beingの実現」**に向けて、**自走・自燃・自律**できる状態になっていくこと目指し、事業運営を行っています。

【学校】で探究を体感してキッカケを渡し、それぞれの興味や関心・意欲に従って背中を押す。

【社会教育】の場合は、個々人の状態や関心に応じてさらに探究のサイクルが回り進んでいける。

そして双方の場が、より個人にとって良くつながっていくことを目指し、多面的に事業を展開しています。



学校教育を対象とした取り組み

- ワンダリングチャレンジ for School
- MAKERS 出張授業
- 都立 NPO×総合学科改連携事業

- ー プログラム提供学校総数： **33** 校
- ー プログラム提供生徒数： **3,946** 名
- ー 年間コーディネート校： 都立世田谷総合高等学校



中間領域 (willdoor事業)

- Compass：総合型Onlineサードプレイス
- Forum：学びの資源 合同説明会
- FES：「わたしから始まる学び」の祭典

- ー イベント開催回数： **70** 回
- ー 参加生徒数： **778** 名
- ー 連携団体数： **23** 団体



事業概要



学校教育

「わたしから始まる学び」
を体感し促進するキッカケ
の提供



中間領域

個々人の自分軸発見のサポ
ートと、次の一步となる学
びの機会や資源の推奨



社会教育

多団体との協働を前提に、
社会に不足する機会の拡充



教育関係者対象

次世代の教育にとって重要となる仕組みの検討、及び指導者・関係者にとって重要となるマインド・スキルセットの整理や発信・共有・支援



社会教育領域での取り組み

- マイプロジェクト長野県 事務局
- ワンダリングチャレンジ@地域
- MAKERS UNIVERSITY U18 事務局 他

- ー イベント実施総数： **26** 回
- ー プログラム提供生徒数： **1,404** 名
- ー 合宿プログラム： **1** 回（4泊6日）



教育関係者を対象とした取り組み

- ナビゲーター研修
- 信州学び円卓会議 民間側事務局
- 長野マイプロ伴走者フォーラム

- ー ナビゲート研究会開催数： **12** 回
- ー 長野県民意見交換会参加者数： **224** 名
- ー 公募型イベント参加者総数： **186** 名（3回）



協力団体・協力者

willdoor Compass 連携団体一覧（順不同）

留学やプログラミング・起業・研究等、様々な機会を提供する団体と連携・協働させていたき、高校生の「次の一步」を応援する枠組みの構築を目指しています。



ナビゲート研究会 参加者のご所属

次世代の教育者にとって重要となる考え方や資質を「ナビゲート」と名付け、学校・行政・企業・NPO・現役高校生等、多様な立場の方と共に観点・技術を共有し、まとめてきました。

NPO法人みらいずWorks

北海道登別明日高校

一般社団法人KOKO

校外プログラム大全

品川女子学院高校

三豊市教育センター

キュリー株式会社

NPO法人DNA

株式会社すみか

公文国際学園高等学校

四條畷高等学校

こども家庭庁

長野県教育委員会事務局

学びの改革支援課

認定NPO法人カタリバ

プログラム協力者

高校生のファシリ/ナビゲーター等
として関わっていただいた方

のべ **558** 人～

高校生の講演者・プレゼンター
として関わっていただいた方

のべ **34** 人～

教育関係者向けの講演者・ゲスト
として関わっていただいた方

17 名



学校教育を対象とした取り組み

■ ワンダリングチャレンジ for School



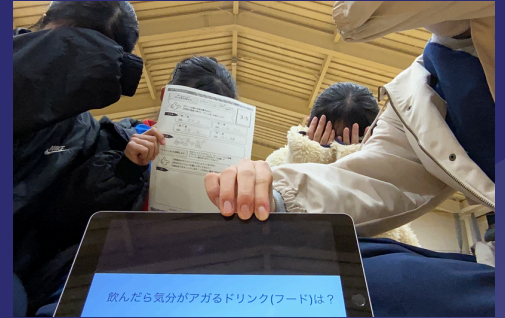
ワンダリング チャレンジ

WANDERING CHALLENGE by City Wanderer

3人1組のチームを組み、ゲーム感覚で様々なミッションに挑戦することを通して、誰もが自分にとっての興味・関心や得意・不得意を発見する最初の一步を踏み出せる探究プログラム。

第12回経産省キャリア教育アワード優秀賞の受賞を背景に、23年度はプログラムコーディネーターの育成と展開に重点を置いて活動を行いました。

〈助成〉一般財団法人三菱みらい育成財団



将来の夢で悩んでる子の助けになるし、先生と話すきっかけにもなるし、自分でミッションを作ること、積極性が生まれると思いました

■ MAKRES 出張授業

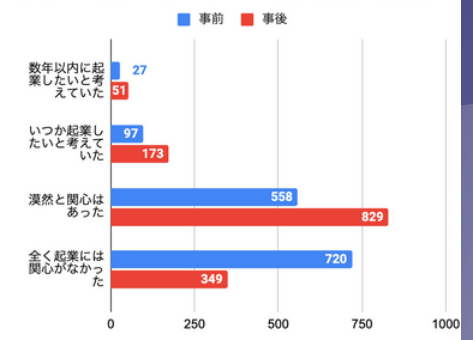


「まだない選択肢を自ら創る生き方」との出会いを届ける事業としてNPO法人ETIC.の運営するMAKERS UNIVERSITYの卒業生を派遣する出張授業型プログラム。企業寄付を受けて、学校には年30校を上限として無償提供を行っています。

参加者の8割以上が最高満足度の評価を行うと共に、多くの生徒が起業への関心を高め、新たな選択肢を得る効果が生まれています。

〈共催〉NPO法人ETIC.

起業への関心（プログラム実施前後の変化）



成功者のひとはたくさんの失敗を繰り返しながらもまたはじめからは繰り返せるということを知っているからこそ言えるんだと気づくことができた。

■ 都立 NPO×総合学科連携事業

東京都の総合学科高校改革施策の1つとして、学校にNPO職員が週1～2程度通い、生徒の自主的な選択を育む仕掛けを埋め込んでいく試行が23年度より始まり、事業の立ち上げを行いました。

キャリア教育や課題研究等「自分で進める学び」の相談役として先生方・生徒のサポートをしています。また、放課後にイベントの開催や、生徒の相談対応ができる教室も確保し、校内ユースセンターを目指し、仕組みとして生徒のサポートができる環境を整えています。



今回のような、日常で私たちのような人が体験しないことを多くの人に学んだりしてもらいたいし、私も積極的に参加してみたいと思いました。



中間領域（willdoor事業）

メタバース空間を活用して、置かれた環境に左右されず学びの資源を“選択・活用する力”を育み、実行するための“機会とつながり”を届ける事業です 〈助成〉一般財団法人三菱みらい育成財団

willdoor Compass （高校生のための総合型オンラインサードプレイス）

「何かをやってみたいけれど何から始めれば良いかが分からない」若者が安心して最初の一步を踏み出すことができる場として、22年度に経済産業省 未来の教室実証事業としてスタートしました。年60回以上開催する定常型の場として運営し、参加者の平均満足度は10段階で9.3という結果となりました。高校生が「次の学び」に踏み出す場になっていると共に高校生世代からの団体に対する期待・信頼の源泉となる事業となっています。

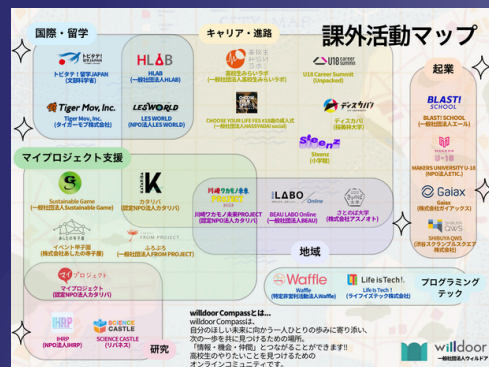


将来の夢で悩んでる子の助けになるし、先生と話すきっかけにもなるし、自分でミッションを作ること、積極性が生まれると思いました

willdoor Forum （課外の学び合同説明会）

全国で課外の学びに向き合い楽しんできた先輩たちが、その想いや熱量を「これから探究をはじめたい」「何かに挑戦してみたい」後輩たちに繋いでいくイベントです。

23年度は4回の大型イベントを開催すると共に、そこに参加ができない方に、一部でも価値を届けられるよう平日小規模イベントの開催や、学校出張型イベントの実践、希望者へのセンパイの話の動画の共有などを試行しました。



全国から集まる仲間と想いを共有できて有意義でした！探究活動って自由！活躍している先輩も悩んだ経験があることを知り、肩の力が抜けた気がしました。

willdoor FES （一人ひとりが“スキ”と学びを披露し合う学びの祭典）

「大人が高校生を評価する」構図から離れて自身が得てきた学びや想いを同世代で共有できる学びの祭典を、年1回開催しています。学びのテーマや参加しているプログラムを横断した交流から、単一の団体やプログラムからでは得られない学びや繋がりが生まれました。またボランティアやスタッフとして参加した高校生が、さらにウィルドアの価値を語りプログラムへの参加を呼びかけていく循環も生まれつつあります。



身近な友達に今回の話をしても「へー」以上のリアクションがなくて寂しいのですがFESではみんなが共感したり進んで調べてくれたり、すごく安心できました



社会教育

■ マイプロジェクト長野県 事務局

長野県内の高校における探究や探究的な学びを促進する外部機会の充実や高校と外部人材の協働の仕組みの構築を目的とし、立ち上げ、23年度で5年周年を迎えました。

コロナ以来3年振りとなる対面開催の場を運営した他、マイプロジェクトの経験者であるアルムナイを積極的に巻き込み、より地域に根ざした学びの機会としての運営を目指しています。

〈委託元：長野県教育委員会 学びの改革支援課〉



「最初はみんな違う分野の探究をしているのかなと思っていましたが、実際には根っこ（思いや価値観）で共通しているのだと気づき勇気をもらいました」

■ ワンダリングチャレンジ@地域

学校展開だけでなく、地域・企業連携型の事業展開を目指し、研修・プログラム提供の型を確立し、学校への営業同行やミッション作成支援等に取り組みました。

23年度は3名のコーディネーターと共に松本・新潟・山形で開催し、24年度は現代アートの祭典である「横浜トリエンナーレ」の共催プログラムとして4～5月に実施が確定しています。

〈協働先：NPO法人ETIC.〉



「自分の住む地域について、どのような観点から魅力や自分の知らなかったことを掘り下げたり、発見できるかをしることができた」

■ MAKERS UNIVERSITY U18 事務局

まだない生き方・選択肢を切り拓くU18が、大学生/大人になるのを待たずに、志に向かって試行錯誤できる4泊5日の合宿から始まるプログラムや奨学金制度の仕組みを構築しました。

22年度より開始した事業のリブランディング完成に向けて発信方法やコンテンツのブラッシュアップを行い、募集面や参加者の変化等の観点から一定の成功を収めることができました。

〈委託元：NPO法人ETIC.〉



成功者のひとはたくさんの失敗を繰り返しながらもまたはじめかは繰り返せるということを知っているからこそ言えるんだと気づくことができた。



教育関係者向け

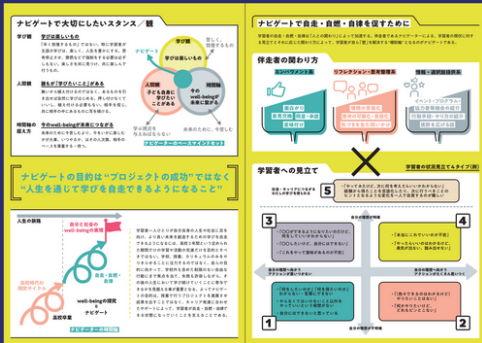
それぞれの領域・地域で若者の学びをサポートしている団体・個人と共に、次世代の教育の在り方や教育指導者としての在り方を広げられるよう、教育関係者向けの取り組みも広げています。

■ ナビゲーター研修

今後の教育指導者に必要なマインド・スキルセットを「ナビゲート」と名付け、23年度は各団体・個人の中に非定型で存在している知識・技術の共有と形式知化を目指しました。

教員・コーディネーター・外部団体・高校生・行政職員と多様な主体が共に議論をすることで、当初想定していたナビゲートの概念をより進化させた知見を取りまとめる事ができました。

〈助成：一般財団法人三菱みらい育成財団〉



23年度、研究会参加者の知見をとりまとめ作成した学習者の「自走・自燃・自律」を促す知見をナビゲートガイドブックとしてまとめました

ダウンロードはこちらから➡



■ 信州学び円卓会議 民間側事務局

「長野県の子どもたちにとっての最適な学びのあり方を幅広く検討し、関係する様々な主体の取組や県民全体の機運醸成につなげることを目的に設立された本事業に民間共同事務局として参画させていただいています。「県民意見交換会」等の議論の活性化に向けた現場の企画・進行や、議論された内容の発信手段の提案・実現、また分科会で集めた県民の声から議論の指針となる6つのテーマの取りまとめに寄与しました。

〈委託元：長野県 県民の学び支援課〉



普段はなかなか関わることの出来ない中学生や他校の教員方と交流することができて本当に貴重な機会だった。学びを受ける当事者として教育について真剣に考える会議に参加できて本当に良かった。（第2回県民意見交換会感想より抜粋）

情報発信noteはこちらから➡



活動計算書サマリ

2023 年 4 月 1 日 から 2024 年 3 月 31 日 まで

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	130,000	130,000
2. 受取助成金等		
受取民間助成金	17,380,000	17,380,000
3. 事業収益	24,838,216	24,838,216
4. その他収益		
受取利息	119	
雑収益	108,635	108,754
経常収益計		42,456,970
II 経常費用		
(1) 人件費		
役員報酬	6,210,000	
給料手当	10,524,548	
法定福利費	2,956,365	
雑給	2,867,410	
役員賞与	1,320,000	
賞与	1,584,000	
人件費計	25,499,750	
(2) その他経費		
業務委託費	8,911,554	
謝金	375,521	
印刷製本費	186,238	
会議費	1,056,259	
交際費	386,339	
旅費交通費	2,579,905	
通信運搬費	1,334,310	
消耗品費	261,575	
地代家賃	1,186,140	
減価償却費	38,383	
研修費	262,165	
支払手数料	1,018,417	
新聞図書費	1,534	
雑費	53,713	
広告宣伝費	909,218	
その他経費計	19,543,500	
経常費用計		45,043,250
当期正味財産増減額		△ 2,586,280
前期繰越正味財産額		2,864,752
次期繰越正味財産額		278,472

willdoor事業、及びナビゲート研修事業で一般財団法人三菱みらい育成財団より計17,380,000円の助成をいただき運営をしています。

※ ワンダリングチャレンジ事業については、活動報告書上は認定NPO法人エティックからの受託事業として計上しています。

業務委託契約での協力者の拡充やインターン生の採用等、各事業で運営体制の強化を進めました。

社内のプロジェクトマネージャーのリソース不足等、指揮系統の元となる人員の不足など、安定した事業運営にはまだ課題がある状況です。



財務諸表の詳細はこちら

主な協働先団体

法人概要



法人名： 一般社団法人ウィルドア
設立日： 2015年5月14日
共同代表理事： 竹田和広、武口翔吾
所在地： 神奈川県川崎市中原区新丸子東
静観ビル 301
お問い合わせ： info@willdoor.org

Vision

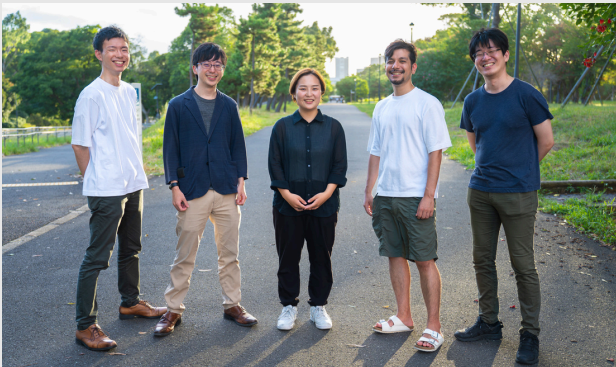
一人ひとりが **“自分” と “社会” と共に生きられる** 未来

Mission

“与える大人” 視点（学校や社会等）ではなく“主役たる若者”の視点で
「自ら選び、学び、変わる自由」 に寄り添える環境を創る

Credo

人を変えることはできない
でも人の可能性を信じ、変わりたい気持ちを後押しする
ことはできる



1. 高校生とともに、**良き学びの実践者**であろう
2. 我々が優先すべきは、高校生が
生み出す結果ではなく**学びである**
3. 抱え込まず、**人に頼ろう**
4. **失敗もありうるチャレンジ**をしよう
5. その場限りで終わる言葉を送るのではなく、
次の一步に繋がる機会をつくろう
6. **自分の考え方・感じ方を大切に**しつつ、
違う考え方・感じ方をリスペクトしよう

個人と社会が共にWell-bengな状態を目指して。
社会の動きが激しく不確実な世界にあっても、
10代が一人ひとりにとっての、よりよい未来への
転換期になることは変わりません。
若者一人ひとりの幸せを願う皆さんと一緒に、
彼らが最大限に可能性を発揮できる仕組みを共に
築いていかせていただければ幸いです。

月間
サポーター
募集中！

月 **1,000** 円からの
月額寄付でウィルドアの
活動を応援できます

